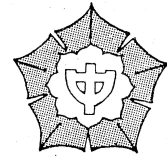


校訓



校訓
郷土を愛し
明るく素直で
たくましく

文責：校長 川内康範

期末テストが終わりました。生徒たちはちよとっただけほっとしているところだと思います。2学期も残すところ3週間ほどです。この間に、生徒会役員選挙があり、生徒会が新しくなります。もちろん授業は22日の終業式までみっちりあります。授業には集中して取り組んでほしいと思います。

また、毎日短時間ですが、実行委員の白石翔子さん、山口晴空君を中心にリズムダンスの練習を行っています。これからの3週間は、生徒たちにとって大変でしょうが、学びも多い時期だと思います。お互いにコミュニケーションを取り合い、理解し合い、支え合う場面があります。チームワークが深まりリーダーシップが育ちます。いつも言っていますが、「させられている」という意識ではなく、自分自身の内側から湧き出る取り組みとしてこのリズムダンスに向き合ってほしいと思っています。

この後、寒さも厳しくなりますので、体調管理をよろしくお願いします。

「道徳」の授業

(9) 自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなもの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高めていくこと。

解説本では「自分と他者の考えや意見の違いが明らかになることを恐れたり、考え方の違いから仲間だと思っていた関係に摩擦が生じたりして、悩み、孤立する場合がある。その一方で、過剰に同調する傾向も生じやすく、いじめのような問題に発展することもある。」と中学生の時期をとらえています。確かに中学生はこのようなことを経験しながらたくましく成長していくのだと思います。悩みと向き合うことも大切です。また、別の角度から見直す知恵も必要だと思います。親として、大人として私たちは中学生を支えていきたいですね。

(10) 法やきまりの意義を理解し、それらを守るとともに、そのよりよい在り方について考え、自他の権利を大切にし、義務を果たして、規律ある安定した社会の実現に努めること。

大きく「社会」と言われても中学生にとっては、漠然として実感がわかないかなと思います。身近な「自他の権利」から考え、「社会」についても考えを広げられるようになってほしいと感じます。相撲界では横綱の暴力事件が大きな問題になっています。高校の時に習った『論語』の中に「七

十にして心の欲するところに従いて則を越えず。(70歳になったら自分の心のままに行動しても人道を踏み外すことがなくなった。)」とあります。孔子でさえそうなのですから、私たち凡人はまだ勉強、修行が大切ですね。

(11) 正義と公平さを重んじ、誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない社会(大島)の実現に努めること。

(12) 社会参画の意識と社会連帯の自覚を高め、公共の精神をもってよりよい社会(大島)の実現に努めること。

(13) 勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考えを深め、勤労を通じて社会(大島)に貢献すること。

文末の表現が「……社会の実現に努めること」「……社会に貢献すること」となっています。自分がどう生きるかだけでなく「社会の一員」としてどう生きるかという視点を中学生に持たせることが大切だと感じます。その点、大島に住む子どもたちは大島が身近で見えやすいので、「大島という社会」の一員であることを意識することが多いのではないのでしょうか。「社会」を「大島」に置き換えて読んでみると、やるべき自分の姿も少し見えてくるような気がします。

PTA保護者会について (日程変更)

先日文書でもお知らせしましたとおり、都合により12月4日(月) 19時から開催することにしました。内容はリズムダンス全国大会出場に関することです。よろしく申し上げます。